

《次期あいちビジョンの骨子案の概要》

I 2040年頃の社会経済の展望

①感染症・災害・犯罪リスクの増大

- ・世界経済を激変させる大きなリスクとしての感染症への意識の高まり
- ・今後30年以内に南海トラフ地震が発生する確率は70～80%と推定

②人口減少の進行、人生100年時代の到来

- ・3人に1人が高齢者に
- ・健康寿命が3年以上延伸

③暮らし・労働・学びの多様化

- ・外国人の増加など社会の多様化の進行
- ・ICT化の加速による場所・時間概念の変容

④共助社会の必要性の増大

- ・単身世帯の増加による社会的孤立の深刻化
- ・地域コミュニティの担い手不足

⑤世界経済の多極化、経済重心のアジアへのシフト

- ・アジアに巨大な市場が形成
- ・サプライチェーンの多元化

⑥世界的な人材獲得競争の激化

- ・高度人材の獲得競争の激化
- ・外国人材が国を選ぶ時代へ

⑦第4次産業革命の進展

- ・デジタル技術等の急速な進展が産業構造の変化や社会変革を誘発

⑧スーパー・メガリージョンの形成

- ・リニア中央新幹線の全線開業により2時間圏人口が国内最大に
- ・過密化リスクへの意識の高まり

⑨都市の低密度化、高齢インフラの増加

- ・空き地・空き家の増加
- ・社会インフラの高齢化の進行

⑩脱炭素化の進展、循環型社会への移行

- ・再生可能エネルギーが主力電源に
- ・SDGsの理念が世界に定着

II めざすべき愛知の姿

①「危機に強い愛知」

～感染症や自然災害等のリスクに負けない強靱な地域へ～

③「イノベーションを創出する愛知」

～柔軟な働き方の中で、世界とつながり、新たな挑戦と未来を拓く創造が可能な社会へ～

②「すべての人が生涯輝き、活躍できる愛知」

～多様性を尊重し、豊かな時間を楽しみながら、全員が活躍する社会へ～

④「世界から選ばれる魅力的な愛知」

～県土をスマートに活用しながら、スーパー・メガリージョンのセンターを担う大都市圏へ～

III 地域づくりの推進にあたっての横断的な視点

- ・現下の危機の克服と中長期を見据えた地域づくり
- ・大型事業・プロジェクトの効果を最大限に活用
- ・SDGs（持続可能な開発目標）の達成への貢献
- ・多様な主体との連携・協働
- ・自立した持続可能な大都市圏の実現と分権型社会の構築

IV 重要政策の方向性

①危機に強い安全・安心な地域づくり

- ・新型コロナウイルス感染症の克服 ・新たな大規模感染症リスク等への対応
- ・ハード・ソフト両面からの防災・減災対策 ・安心して暮らせる地域づくり

②次代を創る人づくり

- ・創造性を伸ばす教育の推進 ・多様性を尊重する教育の推進 ・グローバル人材の育成
- ・魅力ある学校づくり

③すべての人が生涯にわたって活躍できる社会づくり

- ・女性の活躍促進 ・高齢者の社会参加の促進 ・若者や就職氷河期世代などへの支援
- ・障害のある人の活躍支援 ・外国人県民の活躍促進 ・人生 100 年時代の学び直し ・健康長寿

④安心と支え合いの社会づくり

- ・出会いから結婚、妊娠・出産、子育てまで切れ目のない支援 ・地域包括ケアシステムの構築支援
- ・障害のある人の地域生活と医療・療育の支援 ・外国人県民の生活支援
- ・安心できる医療体制の構築 ・困難を抱える女性・子ども・若者などへの支援

⑤豊かな時間を生み出す働き方が可能な社会づくり

- ・新技術を活用した効率的な働き方の促進 ・多様で柔軟な働き方の促進
- ・ワーク・ライフ・バランスの更なる普及拡大

⑥イノベーションを巻き起こす力強い産業づくり

- ・ステーションA i を中核とした国際的なイノベーション創出拠点の形成 ・次世代産業の振興
- ・中小・小規模企業の持続的発展と生産性の向上 ・産業人材の育成・確保
- ・スマート農林水産業などによる生産力の強化 ・農林水産業の持続可能な発展

⑦世界とつながるグローバルネットワークづくり

- ・Aichi Sky Expo などを活用したMICEの誘致・開催と国際観光都市の実現
- ・アジア競技大会を活用した戦略的なネットワークづくり ・海外からの人材獲得
- ・グローバル市場の更なる獲得と海外からの投資促進 ・海外とのパートナーシップの構築

⑧スーパー・メガリージョンのセンターを担う大都市圏づくり

- ・中京大都市圏の拠点性の向上 ・交流圏の拡大に向けた戦略的広域連携
- ・持続可能でスマートな地域づくり

⑨選ばれる魅力的な地域づくり

- ・ジブリパークを活用した地域全体のプロモーションの展開
- ・世界に向け創造・発信する文化芸術の振興
- ・アジア競技大会はじめ国内外から注目されるスポーツ大会の開催 ・愛知ならではの観光の推進
- ・観光・交流拠点としての機能強化、人材育成 ・居住地として選ばれる魅力の創造・発信

⑩持続可能な地域づくり

- ・脱炭素社会を見据えた地球温暖化対策の推進 ・人と自然との共生の実現
- ・資源循環型社会づくり ・持続可能な社会を支える人づくり

V 地域別の方向性（めざすべき将来像）

尾張

多様な産業・人材の活発な交流を活かし、スーパー・メガリージョンのセンターを担う大都市圏の中核となる地域

西三河

自動車産業を中心とする産業の活力を地域経済や暮らしの豊かさに波及させながら、愛知の発展を牽引する地域

東三河

自然・文化に彩られた中で、快適な暮らしと活気ある産業が営まれている、誰もが訪れたい・暮らしたい地域